

「明治神宮外苑の無謀な再開発をやめてください！」

令和4年8月27日

明治神宮の森は明治天皇と昭憲皇太后のご遺徳を永く後世に伝えるための大切な場所であり、日本国民の聖域なのである。

直下型地震が起きれば都民の避難場所にもなる大切な場所である。その外苑の森を壊して高さ190メートル級の超高層伊藤忠本社ビルを二棟も建て、ホテル棟をも建設する大工事が、この9月に始まる処だった。この無謀な開発に気が付いた人々が反対運動を始め、特にアメリカのロシエル・カップ社長が8万人の反対署名を集めて、工事は今、半年延期となったと言う。

しかし殆どの国民がこの計画を知らなかったという事は、これを秘密裏に進めようとしたのかも知れない。

この計画は三井不動産、明治神宮、日本スポーツ振興センター、伊藤忠、三井住友フィナンシャル、SBI証券、他が関わっていると言うが、今年6月初め、ネット上の明治神宮外苑再開発準備会には三井不動産の岩佐弘道会長が明治神宮崇敬会会長として写真入りで紹介されていた。

おかしな話だ。何故なら、明治神宮崇敬会会長はずっと東京商工会会頭の三村明夫氏であり、三井不動産会長の岩佐氏が崇敬会会長になった話は聞いたことがない。

今ではそのサイトは閉じられている。ありもしないことを何故、有ったような話として工作をする必要があったのだろうか。

今、日本の重要水源地が中国に買われて酷い有様になっているが、今回の神宮外苑再開発にその心配があるように感じる。これまでの水源地買い占めは初め、日本人が購入したようになっている。しかし、契約後ふたを開けると中国の買い占めだったと言う。契約後にそれが分かって悔しがってももう遅いのだ。今回の再開発も沢山のビル建築費に中国マネーが投入されて、後で調べてみたら中国のものになっていたなんて言うお粗末な結果にならないとも限らない。

親中派として有名な伊藤忠はこの計画で190メートル級のビルを二棟も建設するらしいが、神宮の森は明治天皇、昭憲皇太后の神宮であるというのに、その宮を高い所から見下ろすという不躰は決して許すべきではない。高所から参道の御皇族や閣僚のご参拝を全て見通せるようなビルを建ててはいけないと誰しも思うだろう。安倍元首相の件でも警備上の手抜きがあったと後から騒いでも安倍元首相は帰っては来ない。

日本人の国防意識は非常に低下しているが、東京都の国防意識は更に酷い状態になっている。中国人には1500万円もの大金を担保なしでどんどん貸し出しているという。日本人にこのような大判振る舞いを一度もしたことがないのに、何故、侵略者として危険視されている中国人にそのような無謀で国防意識の無い貸し出しをするというのか！持ち逃げされるであろうに。非常におぞましい事である。東京都議会、小池都知事は神宮の森開発に賛成しているが、よく考え直して欲しい。

又、日本を守る為の国会議員には国政調査権という権利があって色々調査ができるというが、是非それを使って、この再開発の危険度を精査して頂きたい。

神宮の森を守る会